

21	生活文化局	2020大会に向けた東京文化プログラムの展開
事業概要	<p>「東京都長期ビジョン」(平成26年12月)の基本目標の一つとして掲げている「史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現」に向けて、大会組織委員会や国及び民間団体などと連携を図りながら、アーツカウンシル東京の活用により、東京の多彩で奥深い芸術文化の魅力を国内外に発信する「東京文化プログラム」を展開している。</p>	
これまでの経過	<p>○文化プログラムの具体化に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都の芸術文化振興における基本指針であり、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの先導的役割となる「東京文化ビジョン」について、知事の附属機関である東京芸術文化評議会で議論を行い、素案に対する都民や団体からの意見を踏まえ、平成27年3月末に発表した。 ・東京芸術文化評議会の専門部会である「文化プログラム検討部会」(第2回部会：平成27年7月27日、第3回部会：平成27年8月27日)を開催し、都が展開する文化プログラムの考え方と戦略的な展開について検討し、第21回東京芸術文化評議会(平成27年9月11日)にてその検討結果を都が主導する文化プログラムの基本方針案として報告した。 ・東京芸術文化評議会における議論を踏まえ、平成27年12月に策定された「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」において文化プログラムの展開方針を示した。 <p>○リーディングプロジェクトの推進</p> <p>文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして、伝統から現代まで多種多様なアーティストや芸術が集い、各地で交わりあいながら新たな芸術を生み出す「東京キャラバン」や、アーティストが障害のある人等との交流を通じて新たな作品等を生み出していく「TURN」を、リオや国内各地で実施した。(平成27年度から平成28年度9月まで)</p>	
現在の進行状況	<p>東京都、(公財)東京都歴史文化財団及び(公財)東京都交響楽団が2020年に向け、平成28年秋から4年間の事業を「東京文化プログラム」として展開することを発表した(平成28年9月)。</p> <p>平成28年度は、様々なジャンルの140を超える事業により、東京の多彩で奥深い芸術文化の魅力を国内外に発信していく。</p>	
今後の見通し	<p>「東京文化ビジョン」、「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」や、東京芸術文化評議会等の議論を踏まえ、2020年に向けた取組を充実していく。</p>	
問い合わせ先	生活文化局 文化振興部 企画調整課	電話 03-5320-7736